

3 入学前にこれだけは

入学すると、自分でしなければならないことがたくさん出てきます。早く学校生活に慣れるように大切なことを7つ書きます。入学までにできるだけ身に付けておくようにご家庭でご指導下さい。

1 あいさつをはっきり言えるようにさせる

本校の合言葉は、『「さし人」になろう』です。「さわやかあいさつ」「しっかり本読み」「人に優しい言葉づかい」を重点目標にして指導しています。その中でも、1年生は「さわやかあいさつ」を意識して指導します。「おはようございます」「いただきます」「ありがとう」等、家族の中でみんながあいさつを交わす中で、自然に身に付いていくようにお願いします。

2 人の話を最後までしっかり聞けるようにさせる

相手の顔を見ながら話を聞くということは、すべての学習の基本です。聞くことが苦手で、なかなか集中できない子どもは、そうでない子どもに比べて、どうしても学力に差が出てきます。現在、佐志小では、「聞く・話す力の育成」に力を入れています。こうした習慣を身につけるためにも子どもの話を聞くときは、しっかり最後まで聞いてあげてください。

3 自分のことは自分でさせる

本や遊び道具の後片付け、机の整理・整頓を自分でできるようにしてください。また、洋服や体操服への着替え・服の整理なども自分でできるようにしてください。

4 自分の名前の読み書きができるようにさせる

自分の名前が書かれた持ち物と他の人の持ち物との区別ができるようになることも大切です。自分の姓名をひらがなで読み、縦、横に筆順正しく書くことができるようになるといいですね。鉛筆の正しい持ち方も練習させてください。

5 通学路を歩いて登下校できるようにさせる

入学前に2・3度通学路を通り、曲がり角や横断歩道で気を付けること、青信号で渡ることなど丁寧に教えておいてください。また、知らない人について行かないこと、寄り道をしないこともしっかり教えてください。学校から自宅までの帰りの通学路も確認してください。

6 手や指先を使うようにさせる

手は第2の頭脳と言われます。自分のできる範囲でお家のお手伝いをさせるのは、心や頭を鍛える上で大事なことです。また、できるだけ「くっひも結び」や「タオル絞り」ができるようにしてください。すぐ掃除が始まります。タオル絞りは、お風呂に入ったときやテーブルを拭くときなどに練習をさせてください。

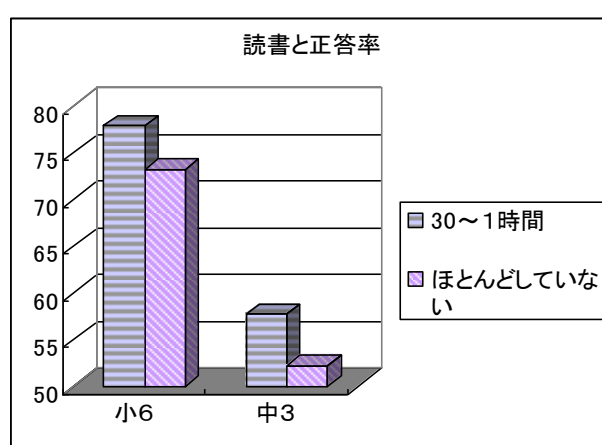
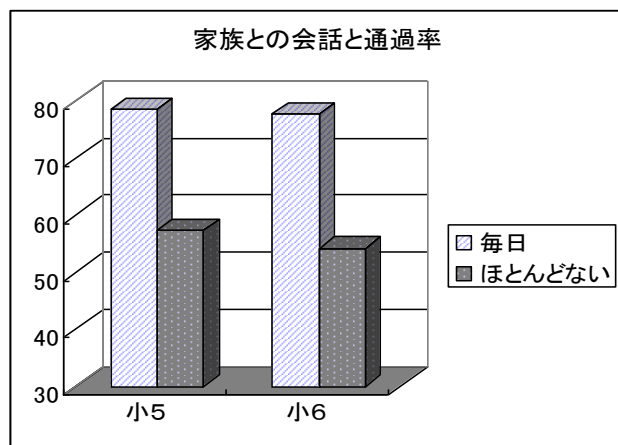
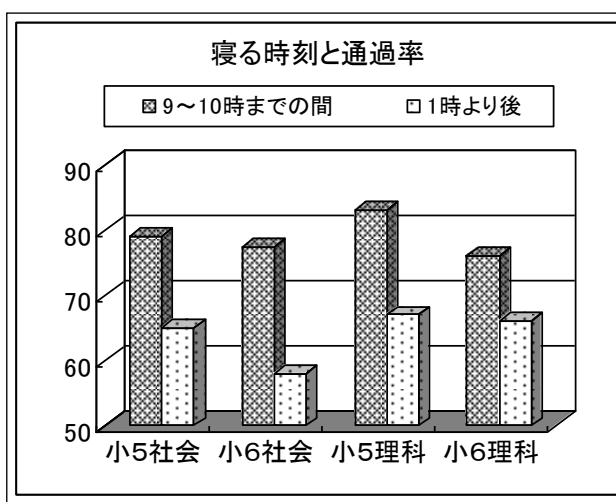
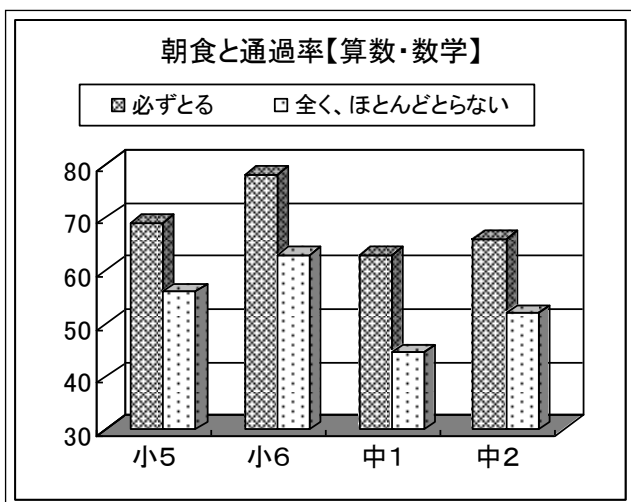


7 生活習慣が学力の向上に影響が

県の調査で、「朝食をとること」、「早く寝ること」、「テレビを見る時間」、「家族の会話」などの生活リズムや読書の習慣が、下のグラフでわかるように、学力（グラフはテストの成績）に影響があることがわかりました。文部科学省からは「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進が提唱されています。本校でも、早く寝て自分で起きるようにし、朝ごはんをしっかり食べて登校できるように呼びかけています。大切なことは、早く寝ることです。早く寝れば、朝早く子どもは起き、朝ご飯をゆっくり食べることができます。子どもの将来の幸せのために、生活習慣を身に付けさせるように学校と家庭が協力していきましょう。



- 1 「早寝・早起き・朝ごはん」をしっかり
- 2 テレビやゲームは時間を決めてさせる
- 3 毎日、読書をさせる（本校では、月曜日に「読書タイム」や地域の方や保護者による「読み聞かせ」が行われています。）
- 4 家族の会話を十分に楽しませる（食事中はテレビを消しましょう。）



資料「全国学習状況調査結果」より